

委託事業実施計画書

事業計画名：長崎国際大学におけるスポーツ指導員増員計画－大学の授業&産学官連携・市民参加型&離島を含めた部活動地域移行支援プログラム－

略称：スポーツ指導員増員計画

【スポーツ庁委託事業】令和6年度「感動する大学スポーツ総合支援事業」の選定結果について（事業の趣旨）

「大学スポーツ」は、単に一部の学生アスリートにとってのみ重要なものではなく、多くの学生が大学スポーツを通じ社会的人材の育成といったスポーツの価値・効用を得ることができる貴重なものです。また、大学は、素晴らしいスポーツ資源（人材、施設、知識など）を有し、大学スポーツを通じて地域社会の発展を支える存在として地域で重要な地位を占めています。

本事業は、「感動する大学スポーツ」の実現を目指すため、「大学スポーツ自体の振興」と「大学スポーツによる地域振興」とを総合的に支援し、その成果を広く提供するとともに、指導員の養成・確保を通じて地域スポーツクラブ活動に貢献することにより、大学スポーツに取り組む学生や大学を総合的に支援することを目的に実施いたします。

* 「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」ウェブサイトより抜粋

同事業：②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業

中学生世代への指導のあり方について、大学において外部有識者等による研修講義を実施し、受講した学生が卒業後も継続して、地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築する実証事業を大学が主体者として実施するものとします。

* 「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」ウェブサイト

<https://univas.jp/news/article/202409041114715/>

I 委託事業の内容

1. 事業趣旨・目的

実施計画名	長崎国際大学におけるスポーツ指導員増員計画－大学の授業&産学官連携・市民参加型&離島を含めた部活動地域移行支援プログラム－
事業趣旨	<p>本取組の主旨は、本学が属する長崎県・佐世保市が喫緊の課題である「人口減少」に対し、スポーツ、特に「地域スポーツ振興活動」の分野において、「産学官連携・市民参加型」により活性化に繋げることである。特に長崎県・佐世保市は離島を抱え、さらに人口減少が激しい「郡、町」を多数抱える地方公共団体であることから、9競技13団体：強化指定部を有する「大学スポーツ」が盛んな本学、さらに「スポーツツーリズムコース」や「保健体育」教職課程を有する本学が実施することで、本学と同様な「人口減少」が進んでいる「地方大学」に対する先進的な事例となることを目指す。</p> <p>本学の「大学スポーツ」を取り巻く環境として、2019年、2020年とスポーツ庁公募事業</p>

に採択された実績を通して、

○事務局：スポーツ支援・振興室 教職員協働組織：スポーツサポートセンター
職員：スポーツ・アドミニストレーター

※スポーツサポートセンター部門制：地域スポーツ振興・事業開拓部門、競技力向上支援部門、安全・安心（コンプライアンス）部門、学業・キャリア・人材育成部門、学生募集部門の5部門制。

○本学園、本学と包括連携協定締結団体との「スポーツプロジェクト推進協議会

※同団体（自治体、企業、団体）とは、情報交換等を目的とした「連携連絡会議」開催。を学内にて設置し、各組織においては単なる強化指定部における「競技力向上」を趣旨とするのではなく、「スポーツ系学生学修支援」、「競技力向上支援」、「地域スポーツ振興活動支援」の3つの柱を通して、特に強化指定部に属する部員（387名：5/1現在）、並びに国際観光学科スポーツツーリズムコース履修生（200名）に対し、支援等を行なう環境が整っている。

加えて、スポーツサポートセンター、スポーツ支援・振興室にて本学のスポーツ環境における安全安心対策として、「UNIVAS安全安心認証（SSC）制度」に申請し、「UNIVAS SSC 認証番号：D0012」を2023年10月1日認証している。

さらに本学の教職員は

- ・佐世保市における休日の部活動の地域移行及び連携に向けた検討会議（仮称）委員（委嘱元：佐世保市教育委員会）
- ・佐世保市総合型地域スポーツクラブ東部スポーツクラブきずな理事
- ・長崎県競技力向上対策本部委員（委嘱元：長崎県競技力向上対策本部）
- ・長崎県スポーツ推進審議会委員（委嘱元：長崎県副知事）
- ・佐世保市スポーツ推進計画（仮称）策定委員会委員（委嘱元：佐世保市教育委員会）
- ・東彼杵町部活動の在り方に関する検討委員会委員（東彼杵町教育委員会）

等、大学近隣地域の「地域スポーツ振興活動」に関し、深く関わりを持ち活動している。その結果、2023年度のスポーツ系体験プログラム（小学生対象）を「22プログラム：学外参加者約955名」の実績がある。

上記のとおり、本学における「大学スポーツ」環境の現状を踏まえ、今回の取組については、自治体は長崎県教育委員会（体育保健課）、佐世保市教育委員会、複数の郡市町、企業・団体は三井住友海上火災保険、スポーツデータバンク、データスタジアム、さらに大学近隣の複数の中学校と協力、連携して推進したいと考える。

事業目的

本取組の目的は、現在スポーツ庁が推進している「中学部活動の地域移行」におけるクラブ化に伴い、地域（離島含む）が抱えている

- 【指導者不足】指導知識・安全安心知識・スポーツマネジメント知識を持った指導者
- 【中学生登録人数減少】「中学部活動の地域移行」における中学生の登録人数
- 【新しい地域スポーツ振興活動】産学官連携・市民参加型（離島を含む）支援プログラム

について、高等教育機関である本学から様々な企画・プログラムを通して、本学の学生や一般市民に対する人材育成を行うことである。

その結果、持続的・継続的に「指導者」増員、特に長崎県が推進している「指導者エントリーシステム」に、本取組に参加した学生並びに一般市民の方々のうち「40名」の登録を目指している。

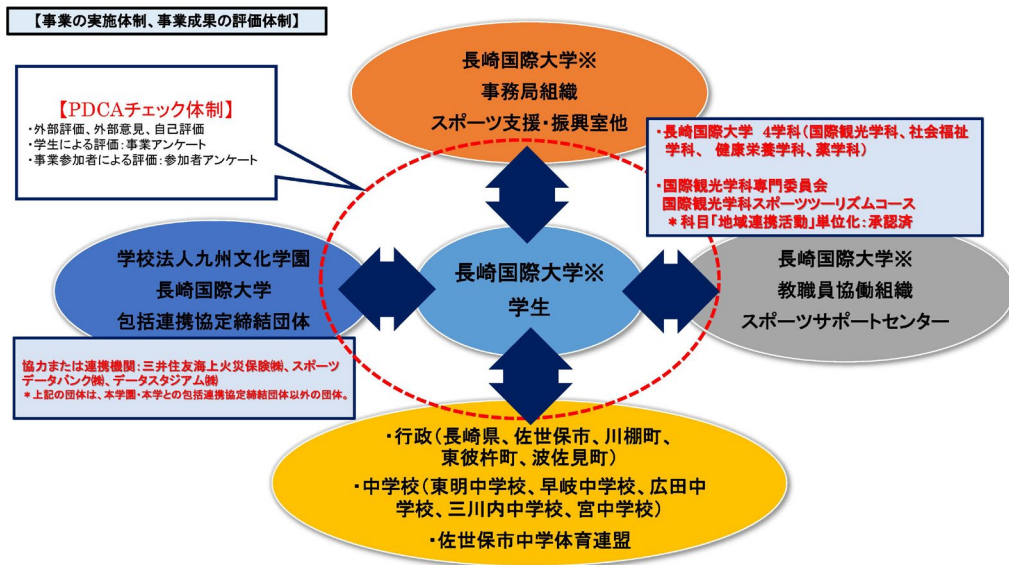
2. 事業の期間

委託契約日から令和7年1月31日まで

3. 事業実施体制

氏名	所属	役職	事業での業務分掌等
末永 貴久	人間社会学部国際観光学科 スポーツツーリズムコース スポーツサポートセンター 地域スポーツ振興・事業開拓部門	講師 副センター長	統括
徳吉 剛	スポーツ支援・振興室 男子・女子テニス部総監督 スポーツサポートセンター全部門	室長兼スポーツアド ミニストレーター 副センター長	統括
神野 周太郎	人間社会学部国際観光学科 スポーツツーリズムコース スポーツサポートセンター 競技力向上支援部門	講師	
江島 弘晃	人間社会学部国際観光学科 スポーツツーリズムコース スポーツサポートセンター 競技力向上支援部門	講師	
長津 恒輝	人間社会学部国際観光学科 スポーツツーリズムコース スポーツサポートセンター 地域スポーツ振興・事業開拓部門	助教	
丸山 貴志	人間社会学部社会福祉学科 スポーツサポートセンター 安全・安心（コンプライアンス）部門	講師	
落合 和昭	人間社会学部国際観光学科 観光マネジメントコース スポーツサポートセンター 学業・キャリア・人材育成部門	准教授	
野田 健	人間社会学部社会福祉学科 スポーツサポートセンター 学業・キャリア・人材育成部門 安全・安心（コンプライアンス）部門	准教授	
的野 幸一郎	硬式野球部監督 入試・募集センター スポーツサポートセンター 地域スポーツ振興・事業開拓部門 競技力向上支援部門		
坂本 亘	男子バレーボール部長 女子バレーボール部監督 スポーツ支援・振興室 スポーツサポートセンター全部門		統括補佐

【実施体制】



4. 事業の効果及び評価方法

事業の効果	<p>① 【教育的効果 1】</p> <p>本事業は、科目「地域連携活動」を活用するため、大学生の積極的な参加と「中学部活動の地域移行」における認識も向上が見込める。</p> <p>また、本学の国際観光学科では「中学・高校：保健体育」の教職課程もあることから、本事業による「教育的効果」の相乗効果を図ることでき、本事業の目的である指導員増員の可能性を高めることができる。</p> <p>② 【教育的効果 2】</p> <p>学生の経験則の確立：本事業に参加した学生が、今回の経験から、専門の有無に関わらず卒業後も継続して地域の中学生指導に抵抗なく取り組むことができる。</p> <p>また、学生や一般市民が参加する「指導者研修・招聘事業」での情報提供・情報収集により、社会人との交流やディスカッションを通して、指導者における質の保証の向上効果向上が期待できる。</p> <p>③ 【地域と本学との連携強化による効果】</p> <p>本事業により、本学や学生と地域（教育委員会・中学校・クラブチームなど）との連携体制が確立・強化される。さらに、本学における「大学スポーツ」が「競技力向上」だけでなく、「地域スポーツ振興活動」においても役割を果たすことができる。</p> <p>③ 【長崎県との連携強化による「指導員エントリー」の拡大化】</p> <p>本事業により、本学の学生や一般市民が「中学部活動の地域移行」についての意識を高め、長崎県「指導者エントリーシステム」を活用する機会が増え、常に長崎県からの情報が得ることができ、ニーズへのスムーズな対応が可能となることできる。</p> <p>④ 【指導員（学生・一般市民）増の可能性大】</p> <p>①～④により、本事業による指導員（学生・一般市民）増員計画の可能性が高まる。</p> <p>以上の5項目により、現在、地域（離島含む）が抱えている</p> <ul style="list-style-type: none">○「中学部活動の地域移行」における指導者、指南役不足の抑制○「中学部活動⇒クラブ化」による中学生の登録人数減少の抑制 <p>について課題解決が見込める。</p> <p>加えて本事業により本学園・本学と包括連携協定締結団体である自治体、企業、団体との連携が深化した結果、本学が提案する「大学の授業&産学官連携・市民参加型&離島を含めた部活動地域移行支援プログラム」が産学官連携・市民参加型事業として持続可能な事業と地域に周知される可能性が高まると想定する。</p> <p>本事業に参加した学生並びに一般市民の方々は、「eラーニング」システムや本学で開催される講座、セミナー等により、卒業後も含め「いつでも」知識を持続的に学ぶことが出来ることも想定する。</p>
-------	---

本事業における評価指標及び目標

評価指標	目標	自己評価	外部評価
評価委員による全体評価 【評価:S、A、B、C、Dの5段階評価】	A評価以上		

事業全体	自己点検・評価	評価指標	目標	実績	達成率	自己評価
		プログラムの目的・概要	5段階評価:4以上			/
学生:事業参加の主体的な取り組み(報告書・活動発表会)	5段階評価:4以上					
活動先(学校・クラブチーム):事業参加による事業評価アンケート	5段階評価:4以上					
活動の頻度・延べ日数の妥当性	5段階評価:4以上					
事業実施による講座・プログラム参加人数	50名					
安全面における「e-ラーニング&認証制度」登録	50名					
長崎県「指導者エントリーシステム」登録人数(本事業関係者)	40名					
アンケート調査:将来的な地域活動への参加意欲	40名					
本事業メディア(新聞、テレビ)取材 新聞掲載、テレビ放映	5件					

【評価基準】
 S(5):計画を上回って実施しており、かつ先進的な事例に値する。
 A(4):計画を上回って実施している。
 B(3):計画を十分に実施している。
 C(2):計画を十分に実施していない。
 D(1):計画を全く実施していない。

0.00

実施計画

事業内容

【スポーツ指導者育成事業：Sports Instructor Training Program：ITP 事業】

① 指導者育成事業（ITP-①事業）

本事業は、本学が中学部活動の地域移行に対応する科目「地域連携活動」を履修した大学生が、クラブ化を含めた地域移行や指導の実習先として、指導者不足に悩む現場（中学校）で活動する画期的なプログラムと考える。なお、この事業の目標は、「中学部活動の地域移行」に関する指導者を含め、将来の地域におけるスポーツ指導員養成を増員することである。

本事業については「佐世保市教育委員会」と連携し推進する。佐世保市は本学の学生に対し、一般市民同様に「地域スポーツクラブ活動体制整備事業等：スポーツ庁委託事業*1」を活用して「中学部活動の地域移行」に向けた実証を行う旨内諾している。同事業と本取組による予算執行については重複せず、大学近隣地域の課題である「指導者増員」に向け、本取組を力強く進める。

さらに佐世保以外の大学近隣自治体に対し、学生派遣について依頼があれば、派遣する予定としている。

対象学生は、科目「地域連携活動」の授業だけでなく、特に安全面の質の保証（反復学習含）の観点から三井住友海上火災保険・スポーツデータバンク「e-ラーニング研修」を活用する。

【協力または連携企業・機関・団体】長崎県、三井住友海上火災保険、スポーツデータバンク

②指導者研修・招聘事業（ITP-②事業）

本学は人間社会学部国際観光学科の既存科目である「地域連携活動」において、本年度より「中学部活動における地域移行の支援」を目的としたプログラムを設定している（前期 43 名履修登録有。）。

本事業では「①指導者育成事業」と連携も含め、事前学習として本学教員、外部有識者からの講座、企業と連携した講座（熱中症対策セミナー）、自治体と連携し、自治体の職員による地域スポーツ行政を学ぶ講座、加えて e-ラーニング（安全対策、ハラスメント対策、AED 講習等）などを受講した上で、中学校での指導（実習）を経験し、事後学習も行うプログラムを実施。

さらに学外で行われる指導者研修のセミナーに対し、教職員へサポートする事業。

【協力または連携企業・機関・団体】長崎県、三井住友海上火災保険、スポーツデータバンク

特に本事業の対象者は、「教職員：指導者研修」、「外部専門家：指導者招聘」を実施。

具体的には

- ・【セミナー】仮題：「これからの『中学部活動の地域移行』、さらにクラブ化に伴う人材とは」セミナー実施 パネリスト：中央からの専門家、久田晴生氏（長崎県体育保健課部活動地域移行推進リーダー）、本学教職員 2 名、学生代表 1 名を登壇しセミナーを実施することで、指導者を目指す学生、一般の方々に「クラブ化」をイメージした運営の知識を持った指導者を目指す。
- ・【講習会】科目「地域連携活動」、教職課程の科目以外に、特に指導者としてさらに必要な要素について指導者を目指す学生、一般の方々にレクチャーする。

③学外プロジェクト事業（ITP-③事業）

主に本事業は「中学部活動の地域移行」の指導者を育成し、本取組修了後は、クラブ化に伴う指導者増になることを想定し、「①指導者育成事業、②指導者研修・招聘事業」と連携しながら指導者（学生、一般の方々）を育成・研修する。

具体的には、学外における活動、具体的には離島を含めた中学校やクラブチームでの指導や補助、部活に関わる大会・イベントの支援などを行う事業*。

なお、同事業の活動後は、事後学習を実施。

- * 本学が位置する佐世保市（離島含む）、および近隣市町の教育委員会（佐世保市、川棚町、東彼杵町、波佐見町）やクラブチーム、総合型地域スポーツクラブ等と連携を図り、学生の受け入れ先のニーズを調査、決定する。活動は専門的な種目の指導や活動の補助・支援など、ニーズに応じ柔軟な対応を可能とし、学生が多様な体験をする。
- * 学生が「③学外プロジェクト事業」として参加した場合は、佐世保市の「地域スポーツクラブ活動体制整備事業等：スポーツ庁委託事業*1」と本取組による予算執行を重複せず、学生に対する謝金を発生したいと考える。
- * 「①指導者育成事業」で学んだ学生については、佐世保市内の中学校や本学に対し「中学部活動の地域移行」で連携を望んでいる離島を含めた自治体の中学校を想定している。今現在、佐世保市内の中学校への実習の受け入れについては数ヶ所内諾済。

④長崎県「指導者エントリーシステム」マッチング事業（ITP-④事業）

学生は本事業により、長崎県の「指導者エントリーシステム」に登録し、指導者を求める団体とのマッチングの機会を設ける。また、本事業を持続的に継続するシステムを長崎県、産学官連携にて構築し、継続的に学生及び一般の方々が指導者として派遣される仕組みを目指す。さらに新たな団体からの要請により、指導者の派遣等、本事業に賛同する長崎県や企業・団体と連携して進める。

自治体が推進している「中学部活動の地域移行」の指導者の対象は元来、地域の方々が中心であるが、地方大学：本学の近郊地域（離島含む）にとっては人材不足が課題であることから、本学が申請する本事業は学生だけでなく、幅広く地域の方々にも周知し、継続的に指導者を増員することを目指す。

⑤その他、調査・評価・表彰事業（ITP-⑤事業）

本事業は、その他本事業に係るその他の活動、学生の優秀な学外活動に対する表彰、さらに本学の教職員や学生が先進的な事例調査に対するサポート事業。

具体的には、①～④に関連するその他の活動のサポート、また本事業における優秀な活動に対する表彰、また「地域連携活動」の成績優秀者や学生の有志が集まった「プロジェクトチーム」を構成し、他大学の先進的な事例の調査を実施する。

また、本事業を評価するために、以下の学校法人九州文化学園と本学と包括連携協定締結団体における「外部意見、外部評価」、学内教職員協働組織である「スポーツサポートセンター」と事務局「スポーツ支援・振興室」による「自己評価」を実施する。

学校法人九州文化学園、長崎国際大学と包括連携協定締結団体

主な包括連携協定締結団体

佐世保市、平戸市、大村市、波佐見町、東彼杵町、川棚町

平戸市社会福祉協議会、佐世保市社会福祉協議会、長崎医療センター、佐世保市総合医療センター

ふくおかフィナンシャルグループ、V・ファーレン長崎、JAL、コングレ

させばパール・シー、長崎新聞社、大塚製薬、ミズノ

表彰内容（予定）

表彰については、「NIU スポーツアワード」を開催、表彰項目検討中。

同アワードでは、特に本取組に関わる表彰項目として、

◇地域スポーツ優秀学生指導者賞（個人）5人

を表彰項目に実施する予定。